

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	廖 郁慧 (りょう ゆふい)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	2024 年 3 月卒業
発表年月 または事業開催年月	2024 年 9 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	地域活性学会 第 16 回研究大会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	廖郁慧、岩垣穂大、徐桜晗、伊藤希子、扇原淳
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	地域共生社会における宅幼老所の役割と機能に関する研究
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>【目的】 本研究では、施設管理者を対象として、日本における宅幼老所の役割と課題について明らかにすることを目的とした。</p> <p>【研究方法】 厚生労働省「宅幼老所の取組」(2013)で取り上げられた 12 施設のうち Web サイトが公開されている 6 施設に依頼状を送付した。そのうち、調査に同意の得られた 2 施設(静岡県 A 市、鳥取県 B 市)および機縁法によって調査に同意の得られた 1 施設(千葉県 C 市)の 3 施設の施設管理者 4 名を対象として、半構造化インタビューを行った。</p> <p>【考察・今後の展開】 本研究の結果から、宅幼老所は、ソーシャルキャピタル醸成機能、ソーシャルスキル養成機能、居場所機能の 3 つの機能を有すると考えられた。この結果は少子高齢化に伴った課題の解決に寄与する可能性を示唆している。</p>	

※無断転載禁止